

# 地震から命と家を守る



9月1日は防災の日。本市は南海トラフ地震が発生した場合、最大で震度7が予想されています。過去に発生した地震では住宅やブロック塀の倒壊、家具の転倒等により、多くの死傷者が出ています。地震が発生した際の被害を最小限にできるよう、今一度、家の安全を確認してみましょう。

## 家の中は安全ですか？

固定していない家具等は、地震が発生したときに凶器となるだけでなく、避難の妨げにもなります。

■家具固定のポイント  
地震が発生したときに家具等から身を守るため、左図や下表を参考に家具等を固定し、家の中の安全を確保しましょう。

- L字金具で壁に固定する。重いものほど下に入れる
- 食器棚には滑り止めを付ける
- 冷庫等は転倒防止する
- は転倒する家具の扉にはロック機能の付く戸棚の扉にはロック機能の付く
- 吊下げ式の蛍光灯等はチェーン等で留める
- ガラスには飛散防止フィルムを貼る
- 懐中電灯等は手の届く所に置く
- テレビは金具やチェーン等で固定する

## ブロック塀は安全ですか？

ブロック塀は倒壊すると歩行者に危害を加えてしまうだけでなく、避難や救助の妨げになることがあります。

◆ブロック塀の点検を行いましょう  
ブロック塀について、下表の項目を点検しましょう。該当しない項目が一つでもあれば、安全性に欠けると考えられるため、専門業者に相談しましょう。

◆ブロック塀等撤去費補助  
コンクリートブロック、レンガ、大谷石等の組積造で、地盤面からの高さが1m以上のブロック塀を撤去する場合には、撤去費を一部補助します。  
※詳細は、本紙4月15日号6ページ又は市HPを参照。

### 家具から身を守るチェック表

- 家具が倒れたり、落ちてきたりしないように固定してある
- 家具が倒れても人間がつぶされないように配置してある
- 家具が倒れてもドアがふさがれないように配置してある
- 出入口や通路にはなるべく荷物を置いていない
- ピアノや本棚等の重い家具は1階に置いてある

## ●補助金額

通学路に面するもの↓撤去費の4分の3(最大15万円)を補助  
公共施設の敷地又は道路に面するもの↓撤去費の2分の1(最大10万円)を補助

### ブロック塀の安全性チェック表

|  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 塀に傾き、ぐらつき、亀裂・目地割れがない                  | <input type="checkbox"/> 控え壁がある(塀の高さが1.2mを超える場合)                          |
| <input type="checkbox"/> 塀の高さが2.2m以下                           | <input type="checkbox"/> 塀に鉄筋が入っている                                       |
| <input type="checkbox"/> 塀の厚さが10cm以上(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上) | <input type="checkbox"/> コンクリートの基礎がある(塀の高さが高さ1.2mを超える場合、基礎の根入れの深さは30cm以上) |
| <input type="checkbox"/> すかしブロック(※)が連続していない                    |   |

※ブロック塀の通気性や装飾性を高めるために用いる、穴の開いたコンクリートブロック。

ひび割れ  
鉄筋  
高さ  
厚さ  
控え壁  
根入れ

(出典:パンフレット「地震からわが家を守る」日本建築防災協会2013.1より一部改)

## 住宅は安全ですか？

市内では、昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅のうち、約15%の住宅が耐震化されていません。

まずは、無料耐震診断を受け住宅の耐震性を知り、必要な耐震改修・補強をすることが大切です。市では、次のような補助を実施しています。

■木造住宅の耐震に関する補助  
耐震診断↓無料  
耐震改修(一般型)↓最大10万円を補助  
耐震改修(簡易型)↓対象経費の2分の1(最大30万円)を補助  
耐震シェルター↓最大30万円を補助  
耐震ベッド↓最大15万円を補助  
※詳細は、本紙4月15日号6ページ又は市HPを参照。

●家具固定に関すること  
危機管理課  
(☎)71-2220  
●住宅の耐震・ブロック塀に関すること  
建築課  
(☎)71-2241